

「まちがっていい。」

校長 石田 雄介

ようやく秋らしい爽やかで心地よい風が吹くようになり、学習の秋到来です。

子どもたちは、今年度10月の「学習発表会」も、音楽を中心に学年の学習に応じた発表を行います。発表会までの思いや練習を大切に、子どもたちの「**考え表現する力**」を鍛え発揮させる場となるよう指導に力を入れているところです。

私は子どもたちに次のような話をしました：

私は、夏休みに甲子園の野球ばかり見ていました。高校野球を見てみると、いつも感動します。どうしてでしょうか？それは、選手みんなが本気で試合しているのに、エラーが出たり、三振したりするからなのだと思います。自分の本気を出し、全力で試合するから、笑顔も涙も輝くのです。

学校は甲子園ではありませんが、皆さんにもこれから、自分が出場する小さな舞台や大きな舞台が待っています。毎日の授業、学習発表会、音楽交歓会、作品展などですね。

そんな皆さんへ贈る合言葉は、「**まちがっていい。表現しよう**」です。

- ・自分の本気を出して、考えや思いを表し、伝えてみましょう。

間違ってもいいじゃない。人は間違い、失敗するもの。

間違ったとしても、次の成功につなげればいいのです。

- ・そして野球と同じように、みなさんにも学級や学年というチームがあります。

たとえ間違えても、誰かがカバーすればいいのです。それが仲間というものです。

これからも感染症にかからないような工夫を続けて健康に過ごし、間違ってもいいから表現することにチャレンジする。そういう毎日にしていきましょう。

先だっの**給食提供停止**の際には、皆様にご難儀頂いてお弁当を作ってください、誠にありがとうございました。普段当たり前前に食べている給食が無いことの大きな影響について考えるとともに、苦勞してお弁当や給食を作ってください人への感謝の気持ちを新たにす機会となりました。皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

また、「**全校歩き遠足**」でも、お弁当をおいしそうにほお張る子どもたちの笑顔がたくさん見られました。おかげさまで例年より多くの保護者ボランティアの皆様から安全誘導にご協力をいただき、夏のような暑さに負けずに、縦割りなかよし班で助け合って歩き、行動し、遊ぶことができました。ボランティア頂いた皆様に、改めて感謝申し上げます。普段とは違う体験を教育活動に取り入れ、「**対話し協働する力**」を育てることをねらった行事でしたが、なかよし班で頑張って歩く姿や達成感に満ちた子どもの笑顔に、今年も大きな収穫を得たと確信しました。

私たちはこの秋も毎日の授業の充実を図ります。そして、子どもたちの成長にとって必要な教育活動を進めていくことを通して、「**4つの未来を生きる力**」を子どもたちに身に付けさせることができるよう努めて参ります。